



会員報

第43号 令和3年10月1日発行

(公財)日本ソフトテニス連盟

<お知らせ>新会員登録システムリニューアルについて

令和4年4月1日より、会員登録システムが全面リニューアルいたします。

それに先駆け、令和3年10月下旬より、新システムの一部を仮オープンし、会員の皆様が自分のスマートフォンやパソコンから会員番号や資格情報を見られる「マイページ」機能が利用可能となります。

新システムでは今までの会員登録システムには無かった機能やコンテンツが追加される予定です。例えば、地域の練習会のお知らせや、クラブチームの参加者募集、チームのオリジナルグッズ作成、会員ひとりひとりに合わせた情報提供コンテンツなど様々な機能を開発中です。

仮オープン時の詳しい登録方法はホームページにてお知らせいたします。

<新システム画面イメージ>

会員証

会員証 公益財団法人日本ソフトテニス連盟

QRコード表示

協会ID JSTA000000008
事務局

生年月日: 年1月1日 日
性別: 男性
会員登録日: 2021年07月13日

所属団体
なし

所属加盟団体
なし

保有資格
なし

THE SOFT TENNIS ログイン 新会員登録

大会やイベントの検索はこちらから

開催地を選ぶ ジャンルを選ぶ キーワード

開催日から探す

イベント種別から探す

対象から探す

申込可否

会員登録料に関する 使途概要について(令和 2 年度)

会員登録料(178,465 千円)は、1 競技力の向上「競技者育成プログラム」 2 競技性の向上 3 国際性の向上 4 大衆化の促進 5 広報活動の強化 等々の事業拡充のために用いられていますが、その他として、学連・高体連への還元、会員の傷害補償金および制度運営のための事務費にも充てられています。具体的な金額は一般会計や特別会計のなかで従来からの支出科目に組込まれているため、かならずしも明確な仕訳になっていませんが、登録料を原資にした補充額は令和 2 年度は概ね次のとおりでした。

競技力の向上/選手強化費

(ナショナルチーム、全日本アンダーチーム合宿、国際大会派遣)
*令和 2 年度は補助金/助成金で実施しました

競技性の向上 9,956 千円

- ・大会開催地・地域大会への補助、大会表彰 8,656 千円
- ・全日本小学生大会/全国小学生大会/都道府県中学生大会 1,300 千円

大衆化の促進 56,330 千円

- ・地域グループ育成費 11,298 千円
(各支部へ一般登録料の 20%還元)
- ・ジュニア育成費 33,372 千円
(各支部を通じて小・中・高・高専登録料の還元)
- ・愛好者増加対策 5,950 千円
- ・ソフトテニス週間、支部小・中学生大会 5,710 千円

広報活動の強化 36,699 千円

- ・YouTube 動画関係費 20,036 千円
(大会ライブ配信、動画番組製作費)
- ・インターネット関係費 3,524 千円
(ホームページ管理、システム構築)
- ・会員報/機関誌制作 13,139 千円

傷害補償給付金等 1,004 千円

次年度事業積立 50,000 千円

- ・普及振興事業積立金 30,000 千円
- ・広報事業積立金 20,000 千円



会員登録関係費 16,190 千円

- ・会員登録システム利用料、カード料等 16,190 千円

その他 8,286 千円

- ・学連への還元 1,949 千円
- ・高体連への還元 4,337 千円
- ・中体連への還元 450 千円
- ・加盟団体普及振興 1,550 千円
(コロナ禍大会開催支援)

合 計 178,465 千円

競技性の向上	9,956 千円	5.6%
大衆化の促進	56,330 千円	31.6%
広報活動の強化	36,699 千円	20.6%
傷害補償制度	1,004 千円	0.6%
次年度事業積立	50,000 千円	28.0%
会員登録関係費	16,190 千円	9.1%
その他	8,286 千円	4.5%
合計	178,465 千円	

会員登録委員会からの お知らせ

登録申請について

登録締め切りは毎年6月末となっておりますが、追加登録等に対応するためシステムのメンテナンス期間を除き年間を通して登録することができます。

なお、審判・技術等級の認定登録手続きは、会員登録が完了していなければ行うことができませんので、できるだけ早期の会員登録手続きにご協力をお願いいたします。

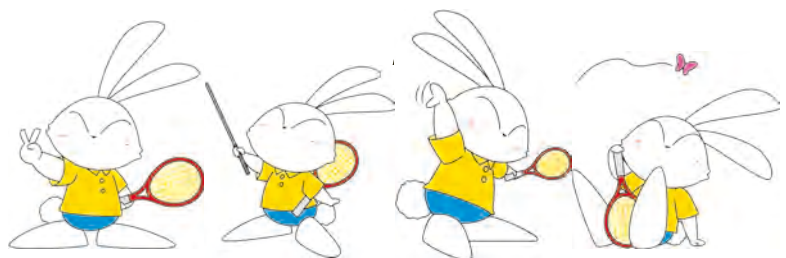
傷害補償制度について

日本連盟独自の登録会員のための傷害補償制度を実施しています。傷害補償制度は、本連盟の会員登録規程に基づき登録手続きを完了した者で、本連盟又は加盟団体（下部組織を含む）が主催する公式の大会及び検定会並びに研修会等の事業に参加した選手又は役員・受講者がケガを被り、入院又は通院したことに対して傷害補償金を支払う制度です。詳しくはホームページ・傷害補償制度をご覧ください。



会員登録制度について

会員登録制度は、公益財団法人日本ソフトテニス連盟（以下「日本連盟」という。）およびその加盟団体（下部組織含む）における会員組織を確立し、登録会員およびその所属団体を明確にすることにより、普及活動の基盤として役立てるとともに、併せて各組織の健全な財政に寄与するために実施しています。登録会員の一人ひとりがソフトテニス界を支えていく現状を再認識していただくとともに、会員登録制度の趣旨にそって「競技スポーツとしての一層の向上」「生涯スポーツとしての一層の普及」を具体的に推進しています。

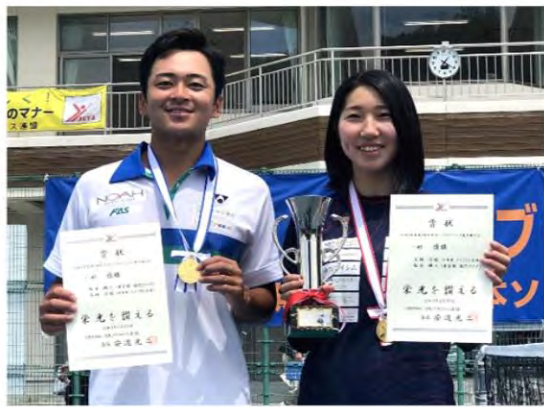


初代王者は高橋・船水ペア！ 第2回全日本ミックスダブルス選手権

今年6月、第2回大会が愛媛県松山市で開催されました。昨年は新型コロナウイルスの影響で中止、事実上今回が初めての開催となりました。一般の部で初代王者に輝いたのは、高橋乃綾(どんぐり北広島・広島県)・船水颯人(稲門クラブ・東京都)ペア。日刊スポーツ新聞にも取り上げていただきました。記事はインターネットサイトにも掲載されています。

日刊スポーツ新聞 HP はこちら

<https://www.nikkansports.com/bluezone/sports/>



メディア情報



今年3月29日に発売された日刊スポーツ新聞でソフトテニスの記事が掲載されました。本連盟のYouTube ライブ配信でソフトテニスを盛り上げてくださっているタレントのたむらけんじさんや足立梨花さんをメインとして1面全面掲載で大きく取り上げられました。また YouTube の公式チャンネルでは、全日本実業団選手権(7月)と全国中学校大会(8月)の2大会をライブ配信し、全国中学校大会は、配信後2週間で14万回以上の視聴回数がありました。今後もリアルタイムに大会情報などを発信し、旬な情報をお届けします。**YouTube 公式チャンネルの登録をお願いいたします。**

中高6年間の青春を捧げ
大阪府インドア大会優勝

ショットを放つたわけにじ

ニスモジェ

20年10月

視聴者参加型投票ライブ

代に大阪府

票を持つ、お

んじんがM

タ界の日本と

食者や日本と

の重宝とどろ

にソフトテニスを盛り上げる。アシスタントの女優足立梨花もソフトテニス経験者。競技に情熱をさげの俳優藤葉雄樹が50年あまりの競技歴を誇る落語家三遊亭圓歌から席に出陣。選手やタレントのトークなど幅広い企画を行い、14日に8回目の配信をしい。番組制作はMGスポーツ。

足立梨花「芸能人ソフトテニス会」設立プランも

が日本に伝わり、分岐して発展し、現在になる。ダブルスが主流で1993年からシングルの正式導入。現在、男女ダブルス、男女シングルの混合ダブルスが実施される。長年、軟式、軟式テニスと呼ばれ、1992年の全面的な改定の際に「ソフトテニス」となった。東京を中心にプレーされていたのが、現在は東京だけでなく定期的に国際大会が開催されている。国際ソフトテニス連盟は1975年に設立され、2019年に第16回の世界大会が行われた。

地元秋田でトナメント主催 娘に教えるための指導員の資格も取る

柳葉敏郎

柳葉敏郎 柳葉 写真見は 柳葉敏郎 柳葉 写真見は

森慎太郎

森慎太郎 森 写真見は 森慎太郎 森 写真見は

中学で主将持ちネタもしかしてだくだでソフトテニスバジョンも

森 写真見は 森 写真見は

【令和3年度 定時評議員会 議事録】

今年6月13日、令和3年度定時評議員会がインターネット回線を利用したWeb会議で開催されました。下記の議事録は、当連盟の機関誌7月号に掲載したものです。

定時評議員会 報告

【Ⅰ】日 時：令和3年6月13日（日）13時 開会

【Ⅱ】会 場：リモート会議（Cisco Webex）

【Ⅲ】出席者：評議員：37名（欠席13名） 参与：2名 理事：21名（欠席2名） 監事：3名

【Ⅳ】次第

1 開会

定款第23条第1項および第2項により、評議員の定数50名に対し、出席者37名となり定足数に達していることにより評議員会が成立する。

2 会長あいさつ

安道光二会長より、会議参加への慰労の言葉と、円滑な議事進行にご協力頂きたいとの挨拶があった。

3 議長選出

公益財団法人日本ソフトテニス連盟定款第20条第2項により、出席した評議員の中から互選により議長は選任される。埼玉県の中村進評議員より群馬県の佐藤栄一評議員の推薦があり、承認された。

4 議事録署名人の指名

議長より、公益財団法人日本ソフトテニス連盟定

款第24条第2項により、議事録署名人に三重県天野晴夫評議員と佐藤健司常務理事が指名された。

5 議決事項

第1号議案 令和2年度事業報告書（案）について

〔説明者：野際照章専務理事〕

令和元年2月末頃から新型コロナウイルス感染症の影響により様々な事業の中止を余儀なくされ、令和2年度に至っては殆どの事業が中止となった。しかしながら、このような状況であるからこそ、ソフトテニスの普及・発展を念頭におき、特に広報活動の充実・拡大を図り、且つコロナ禍での事業開催のあり方を研究しながら事業に取り組んだ。

I. ソフトテニスの普及振興事業について

（1）ソフトテニス競技規則の制定

競技規則、審判規則等を一部改訂し、新たなフェアプレイ宣言、環境宣言、大会運営マニュアル等を加えて、令和3年4月1日発行のハン

ドブックを作成した。

(2) 大会等開催に向けて

6月2日に策定した「ソフトテニス大会等の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づき、主催大会の日本実業団リーグ、全日本クラブ選手権、日本リーグ、日本リーグ入替戦の4つの大会を、コロナ禍の中で実施することができた。スポーツ拠点事業の全国小学生大会は2021年3月に例年の半数程度の参加者数で個人戦を実施することができた。

(3) 地域ソフトテニス大会支援および加盟団体が行うソフトテニス競技力向上と普及振興

開催中止となった大会等も多く、補助金などの支出は例年より減となった。

(4) ソフトテニスの広報活動

全日本選手権大会が中止となり、NHKテレビ放映は実現できなかったが、多くの愛好者にソフトテニスの魅力を伝えることを目標として、メディアへの露出を増やすためコロナ禍であったが事業推進を図った。

①新たにホームページ上に全国各地の大会結果を掲載するページを作成し、多くの大会結果が掲載された。

②当連盟YouTubeチャンネルを活用し、ナショナルチーム男女の合宿、日本リーグ、日本リーグ入替戦の様態をライブで配信した。

③MGスポーツの協力を得て、「ソフトテニスをメジャーにしたいんや」という番組を作成し、10月以降毎月1回、計6回を当連盟YouTubeチャンネルで放映した。また、地上波TV「朝日奈央キラめきスポーツ」で2回ソフトテニスを取り上げて頂き放映した。

④日刊スポーツとタイアップし、「ソフトテニスをメジャーにしたいんや」出演タレントを活用した全国紙面でのソフトテニスの紹介、ソフトテニス選手のトピックス、地域クラブ活動紹介、安道会長インタビュー、大会結果等々の記事掲載を行った。

Ⅱ. ソフトテニスの競技力向上事業について

1. 国際大会が延期となり、強化合宿はナショナルチーム男女各1回のみとなったが11月に実施できた。

2. 指導者育成は、「公認コーチ3」の前期は開催することができたが、後期はコロナ禍のため中止となった。令和4年度に後期講習会の開催を計画する。

3. 中学・高校教員の働き方改革に伴う、土日の部活動のあり方に向けた対応について、指導者育成委員会が部活動指導の手引きを作成した。また、休日の部活動中止に向けた今後の対応も、指導者育成委員会で検討を始めた。

Ⅲ. ソフトテニスの国際振興事業

1. コロナ禍により、海外での大会中止や各国との交流は全て中止となり、国際事業活動は全くできなかったが、電話やネット環境を活用し、交代した韓国連盟新会長と安道会長の対談などを行った。

2. 企画委員会と国際委員会との合同会議を開催し、長期基本計画における国際振興活動について協議を行った。

【各事業を推進するための組織と財政の強化、共通施策】

1. マナーBOOKについて、ハンドブックに掲載するための抜粋版を作成した。

2. スポーツ団体ガバナンスコード対応

2020年6月にスポーツ庁から中央競技団体に対して施策が示された。

(1)「スポーツ団体ガバナンスコード」自己説明を予定通り3月末までにホームページに掲載した。

(2) 令和3年度に予定されている適合性審査に向けて遵守状況の再確認を行っているが、その中で大きな課題となるのが来年6月の役員改選に向けた役員選出規程の改訂となり、役員の任期、年齢制限についての見直し、又、外部理事25%および女性理事40%

登用という数値が求められており、役員構成の大きな変更も出てくる可能性がある。

3. 会員登録制度

会員証発行は令和2年度で廃止となり、登録方法については新たな方式を取り入れ、登録データを元に会員のマイページを開設できるようにするなどの準備を令和2年度よりICTシステム委員会が行っている。

4. 財政基盤の確立

(1) 財務委員会が発足し、今後の財源確保、財政運用について検討を行った。

(2) 次年度以降の財源確保のため、特定費用として新たに積立金を開始した。

- ・ テニスコート修繕積立金
- ・ 普及振興事業積立金
- ・ 広報事業積立金

(3) コロナ禍の影響を受けて学校活動における活動中止および各種大会の中止により、会員登録数が一昨年度の2019年度対比約10万人、25%減少となり、約5,500万円の減収となった。また、国際大会の中止により日本代表が結成されなかったため、オフィシャルサプライヤー協賛金を受け取れずに終わった。これらを合わせると、約80,000千円を超える減収となった。しかしながら、今年度は大会開催経費が不要となった分、また支出見直しなどによる支出額の減額に取り組み、令和2年度を乗り切ることができた。

(4) テニスコート所有について、福島県東白川郡棚倉町の「リゾートスポーツプラザ ルネサンス棚倉」内の東日本大震災で荒廃していた全天候テニスコート12面の敷地を令和元年度に購入し、令和2年度9月から改装工事に着手した。

令和2年度において資産取得積立金を取り崩しており、97,900千円を支出し、令和3年6月度完成後に残額を支払う予定で

必要な金額のみを今年度の積立金としたため、3,931,800円という端数での積立となった。これは資産取得のための積立金となり、残額を残すわけにはいけないため、このような計上となった。

【庶務事項】

コロナ禍における事務局の対応について

1. 今後は事務局内の会議室での会議は、スペース上の観点から開催困難になってくるため、殆どの会議がリモート開催となる。そのため、会議運営に必要な関連ソフトウェアや設備を購入した。
2. 国や上部団体からの指導に沿って、職員のリモートワークを推進しているが、それに対応するための機器および環境整備を行った。
3. 事務局室内の感染症対策のために、消毒液の購入や、パーテーションの設置、空間除菌機を導入した。

別冊資料に基づき以上の内容にて令和2年度事業報告書(案)について説明された。

【第1号議案質疑応答】

議長より第1号議案の質疑等について促されたが、質問等はなかった。

【第1号議案の承認】

議長より第1号議案について諮られ、賛成多数により承認された。

第2号議案 令和2年度決算報告書(案)について

〔説明者：荒木朋子事務局長〕

本連盟は一般会計の他、特別会計としての助成事業会計、国際会計、傷害補償制度会計、募金会計で構成されている。

決算報告書としては貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対す

る注記、付属明細書、財産目録で構成されている。

本年は、感染症の影響による事業中止で大きな影響を受け、収支とも大幅な減となっている。

(1) 貸借対照表

本連盟の資産と負債について表している。収支計算書総括表において説明した積立金支出は、特定資産の当年度残高に含まれている。

一般正味財産 790,481,442 円、うち基本財産への充当 150,000,000 円、特定費用への充当 330,543,840 円、正味財産合計 790,481,442 円となる。この正味財産合計は、正味財産増減計算書および内訳表、財産目録の正味財産期末残高と合致しており、この財務諸表においての計上などは公認会計士の指導のもとで整理されている。

(2) 正味財産増減計算書

連盟事業の収入と支出について前年度と当年度を比較し、前年度からの増減を示している。前年に比べて大幅な収入減、しかしそれを上回る支出の減があった。本来なら公益目的事業で支出されるべきものが執行されなかったことについては、特定費用として次年度以降の事業に充てるべく積み立てることとした。

(3) 正味財産増減計算書内訳表

正味財産について、公益目的事業と法人管理に分類して計上したもの。

(4) 財務諸表に対する注記

会計方針、財産等の増減と残高および内訳、

固定資産の説明、有価証券、補助金等の内訳および増減を説明している。

(6) 財産目録

本連盟の財産について、流動資産、固定資産、流動負債、固定負債について示している。

令和 2 年度決算について、財務諸表は公認会計士の指導を受けて作成している。また、財産目録に記載されている各残高の証明書や計算資料の確認をはじめ、財務諸表の内容について、公認会計士および日本連盟監事の監査を受け、問題なく終了している。

【監査報告】

[報告者：井上清一監事]

監事 3 名は、令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行について、令和 3 年 5 月 19 日と 20 日の両日監査を実施した。その方法及び結果について、次のとおり報告する。

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査した。

当該事業年度に係る事業報告及び会計帳簿及び財務諸表（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び付属明細書ならびに財産目録について検討した。

事業報告等の監査結果について、事業報告等は、

法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。また、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

財務諸表及び附属明細書ならびに財産目録の監査結果について、財務諸表及び附属明細書ならびに財産目録の監査結果は、法人の財産および損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

【第2号議案質疑応答】

議長より第2号議案の質疑等について促されたが、質問等は無かった。

【第2号議案の承認】

議長より第2号議案について諮られ、賛成多数により承認された。

第3号議案 評議員の選任について

〔説明者：野際照章専務理事〕

高知県評議員について、横江忠志氏から川島祥嗣氏への変更申請があった。これは高知県連盟役員変更に伴うものである。

【第3号議案質疑応答】

議長より第3号議案の質疑等について促されたが、質問等は無かった。

【第3号議案の承認】

議長より第3号議案について諮られ、賛成多数により承認された。

報告事項 (業務執行状況)

(1) 令和3年度会員登録状況について

〔説明者：野際照章専務理事〕

6月6日現在の登録者数について、令和2年同日時点での登録者数は、令和元年度対比26.53%だったが、令和3年度同日時点での登録者数は令和元年度対比89%となり、令和2年度と比較して約3倍ほど増加しており回復傾向にある。

(2) 今年度全日本学生選手権大会の中止について

〔説明者：野際照章専務理事〕

全日本選手権大会における学連出場枠について、競技、強化委員会と相談の上対策を検討していく。

(3) アジア選手権大会の再延期に伴う変更について

〔説明者：安藤正美競技委員長〕

日本代表編成基準においては、全日本ミックスダブルス選手権大会、全日本シングルス選手権大会の優勝者を日本代表として選考すると定めているが、アジア選手権は来年度以降に開催延期されたことにより、今年度に限って両大会の優勝者については対象外とする。

(4) 大会要項の変更について(競技委員会)

[報告者：安藤正美競技委員長]

1. 大会申込における承認行為(承認届)の廃止について

他加盟団体所属選手とのペアで出場する場合の承認行為について、加盟団体双方での確認を目的として実施されてきたが、最近はシステム等の導入により出場枠の確認作業も不要であると思われ、作業自体が表面的なものになっている。また、大会当日の選手変更に係る申請内容が複雑であることも考慮し、承諾作業および承認届を廃止する。実施時期等について以下とする。

- ①令和3年度全日本社会人選手権大会の申込みより実施する。(申込締切日 7月27日)
- ②令和3年度大会要項における「全日本社会人選手権大会」以降の大会要項に次の文章がある場合は下記下線部分を削除する。
なお、申し込みはいずれかの会長より申し込むこととする。
- ③日本連盟のホームページに掲載している「他支部の選手と組んで出場する場合(別表4)」を削除する。

2. 選手変更の取り扱いについて

選手変更については、2019年度当初より「組合せ公開日以降の変更については身体的変調が生じた時」に限定していたが、社会情

勢の変化に伴う選手変更の必要性が増加してきたことや、出場を希望する選手のモチベーションアップのためにも次の通り改訂する。(下線内容を削除する。)

1. (1) 組み合わせ公開までに疾病等なんらかの事情により、ペアの内1名が出場できなくなり、変更届を加盟団体の承認を得た後、日本連盟に送付し承認された場合。

- (2) 組み合わせ公開後(原則大会開会日10日前)の選手変更は原則として認められないが、次の場合に限りペアの内1名の変更を認めることがある。変更に関する手続きは上記(1)と同様とし、必ずそれを証明できる書類を変更届と併せて受付時までに提出すること。
・組み合わせ公開後、選手に身体的変調が生じたとき。

施行日については2021年6月14日以降とする。

3. 全日本小学生選手権大会の参加資格について
大会におけるマナーシップの向上等を念頭に、公認資格所有者の監督を育成し、配置するように依頼していたが、今年度で準備期間としていた3年が経過し、体制は整ったと判断し、令和4年度より監督に関する記載内容を下記のように変更したい。

現 行：団体戦監督についても公認審判員制度の有資格者であることが望ましい。

変更後：団体戦監督は、公認指導者（コーチ1以上）、あるいは公認審判員制度2級以上の有資格者であること。

尚、個人戦におけるベンチコートについては、今年度より不可としている。施行日については令和4年度からとする。

(5) 大会等の参加に関する健康チェックシートの様式について（競技委員会）

〔報告者：安藤正美競技委員長〕

主管団体の作業の軽減と大会当日における受付の混雑緩和に繋げることを目的として、新型コロナウイルス感染拡大防止のための健康チェックシート様式を統一しホームページに掲載する。なお、今後の動向により修正が必要となった場合は競技委員会に変更作成しホームページ上で変更掲載する。施行日については2021年6月14日以降とし、速やかにホームページで公表する。

(6) ソフトテニスハンドブックの一部修正について（審判委員会）

〔報告者：木原晴彦審判委員長〕

4月度に改訂発行したソフトテニスハンド

ブック「審判規則」の文言に欠落、不備等があり、今後の増刷分から修正する。修正箇所は後日、ホームページに掲載する。

(7) 長期基本計画（未来構想）について（企画委員会）

〔報告者：加藤育広企画委員長〕

現在のソフトテニス長期基本計画は、2017年度～2021年度という期間設定となっており、今年度で区切りとする。2022年度からはこの未来構想を長期計画と位置付け、中期計画は別途策定していくこととする。

未来構想のタイトルを「全世代が夢と感動を持てるソフトテニス、次世代へ持続可能なソフトテニスを目指す」とし、前段の全世界が夢と感動を持てるソフトテニスについては、オリンピック参入を目指すことを目標とした。後段の次世代へ持続可能なソフトテニスを目指すについては構成内で具体的には記載されていないが、ガバナンスコードの遵守事項も含め今後策定していく。

オリンピック参入の主旨については配布資料を改めてご一読願いたい。

Ⅱ. オリンピック参入の条件について、項目1の5大陸で競技されているスポーツであること、男子75か国以上、女子40か国以上で競技されているスポーツであるという条件をクリアしていないという課題がある。

Ⅲ. 現状の中で早急に取り組まねばならない事項としては、学校部活動と地域部活動の両立支援である。

Ⅳ. 課題と対応では、国際連盟とのコミュニケーションが不十分であるという課題が残っているが、オリンピック参入は日本だけの働きかけで実現するものではないので、国際連盟との連携は今後必須となる。

Ⅴ. ロードマップとしてステップ0の2021～2022年度を皮切りに、ステップ5の2038～2040で構成している。

今後のスケジュールとしては8月度までに国際委員会、企画委員会合同会議にて原案を策定し、11月度理事会に提案した後、12月度の臨時評議員会で承認頂くように進めていく。

(8) 令和3年度共通科目「コーチデベロッパー（コーチ育成者）」養成講習会受講者の推薦について（指導者育成委員会）

〔報告者：篠邊保指導者育成委員長〕

加盟団体へ推薦を依頼したところ結果的には推薦がなかった。日本連盟推薦として指導者育成委員の浅川氏を推薦することとしたが、日本スポーツ協会から推薦された全ての人が受講者にはならないと案内が届いているので、まだ決定には至っていない。

スポーツ庁が策定・公表した「運動部活動の在り方に関する総合ガイドライン」に向けて、指導者育成委員会においても検討を開始する。

(9) その他

〔報告者：野際照章専務理事〕

延期となっているワールドマスタースゲームズ2021関西が来年5月に同じ福知山で実施する。大会申込は通常ネット上とすることが多いが、紙ベースの申込書を作成したので各支部へ配布する。問い合わせに関しては福知山市実行

委員会宛で願いたい。

【質疑・意見等】

報告事項についての質疑・意見等は次のとおり。

(1) 会員証について

〔質問者：福島県 小野間幸一評議員〕

会員登録証廃止が決定したが、登録数の多い小中学生が個人の番号を把握するためにも、別の対応を検討して欲しい。

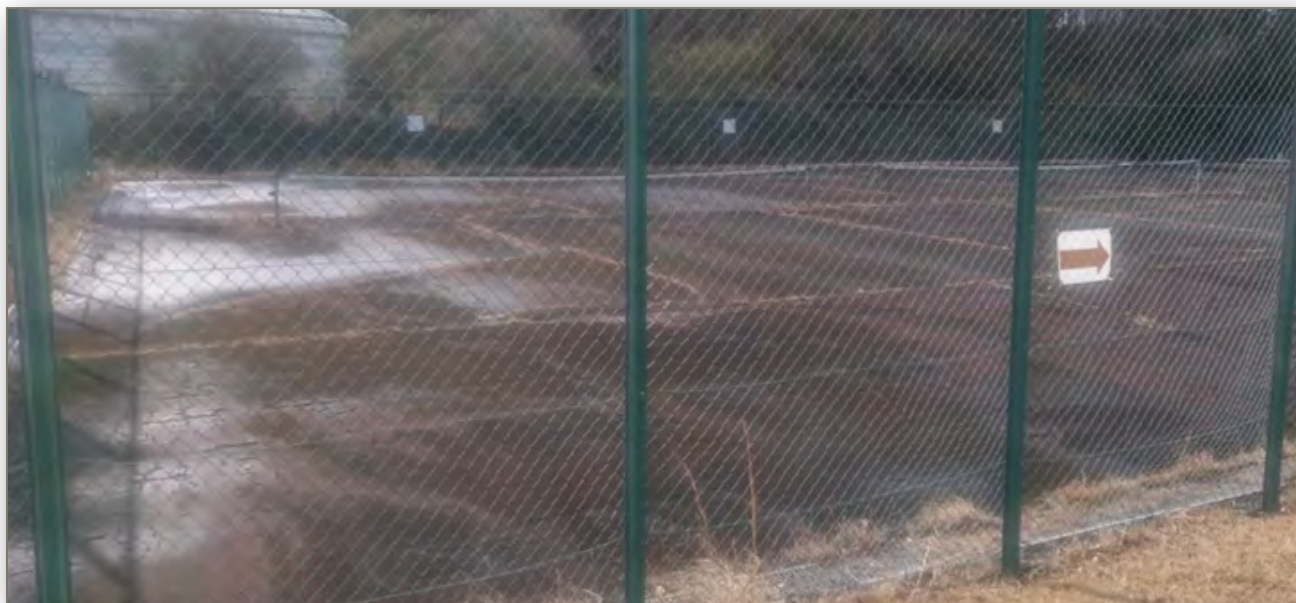
〔回答者：荒木朋子事務局長〕

会員登録委員会等で協議していただいた後、回答させていただきたい。

【Ⅴ】閉会

佐藤栄一議長より、全ての議決事項及び報告事項が終了した旨の報告があり、あわせて円滑に会議が進行したことへの謝辞が述べられた。

安道光二会長より、議長の佐藤栄一評議員への慰労の言葉が述べられ、閉会が宣言された。



2011年東日本大震災でひび割れて放置されていたテニスコート。復興10年の節目で復活した！



東日本大震災から10年 「テニスパーク棚倉」誕生



アクセス
車：白河ICから約40分
新幹線/バス：新白河駅からバス約35分
所在地：福島県東白川郡棚倉町
大字関口字一本松43-1
ルネサンス棚倉内